

●P.2 「調査地点」

- ・ 図の地点で調査を実施しました。

●P.3 「調査日」

- ・ 令和3年度第3回調査を11月16日に実施しました。

●P.4 「目標達成状況の評価対象地点の状況」

- ・ 産廃特措法に基づく実施計画の目標達成状況の評価には、調査地点のうち図で示した評価対象地点6地点の結果を用いることとしています。
- ・ ひ素について、No.3-1で継続して環境基準を超過していますが、超過原因は自然由来と考えられます。
- ・ 評価対象地点6地点において、その他の項目については年平均値が環境基準を超過するものはありません。

●P.5 「項目ごとの経年変化状況」

- ・ P6～P15に、二次対策工事の着手以降に地下水調査地点で環境基準を超過したことがある項目および電気伝導度について、平成24年度以降のグラフを表示しました。

●P.6 「電気伝導度・Ks3層と浸透水」

- ・ 旧処分場の上流ではほぼ横ばいであり、下流では低下傾向となっている地点が見られます。

●P.7 「電気伝導度・Ks2層」

- ・ 旧処分場の上流ではほぼ横ばいであり、下流では長期的に見ると多くの地点で低下傾向となっています。
- ・ No.1では平成30年(2018年)6月から上昇傾向となっています。
- ・ No.3-1は乱高下していますが、令和2年(2020年)11月以降低下傾向となっています。
- ・ H24-4は令和元年(2019年)6月以降低下傾向でしたが、ここ2回は上昇しています。

●P.8 「ひ素・Ks3層と浸透水」

- ・ Ks3層と浸透水は全地点で不検出でした。

●P.9 「ひ素・Ks2層」

- ・ H26-S2、No.3-1の2地点で環境基準を超過しました。
- ・ 以前から環境基準を超過しているH24-7では今回は環境基準以下となりました。
- ・ 以上の3地点とも横ばいで推移しています。

●P.10 「ほう素・Ks3 層と浸透水」

- ・ H26-S2(2)の1地点で環境基準を超過しました。
- ・ H26-S2(2)は横ばいで推移しています。

●P.11 「ほう素・Ks2 層」

- ・ Ks2 層は全地点で環境基準以下でした。

●P.12～13 「クロロエチレン」

- ・ 全地点で環境基準以下でした。

●P.14～15 「1,4-ジオキサン」

- ・ 全地点で環境基準以下でした。

●P.16 「洪水調整池の水質等」

- ・ 環境基準の超過はありませんでした。

●P.17 「調査結果一覧」

- ・ 結果の一覧表を掲載しています。

●P.18 「敷地境界ガス調査結果」

- ・ 令和3年度第3回の調査を令和3年(2021年)11月24日に実施しました。
- ・ 結果は全地点で不検出でした。